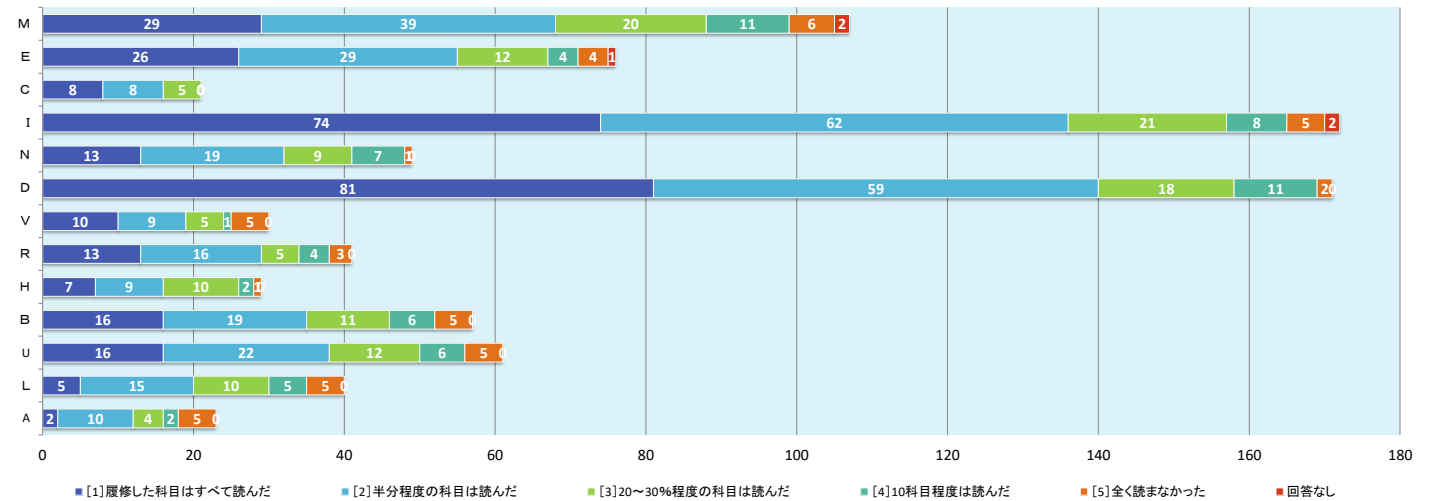
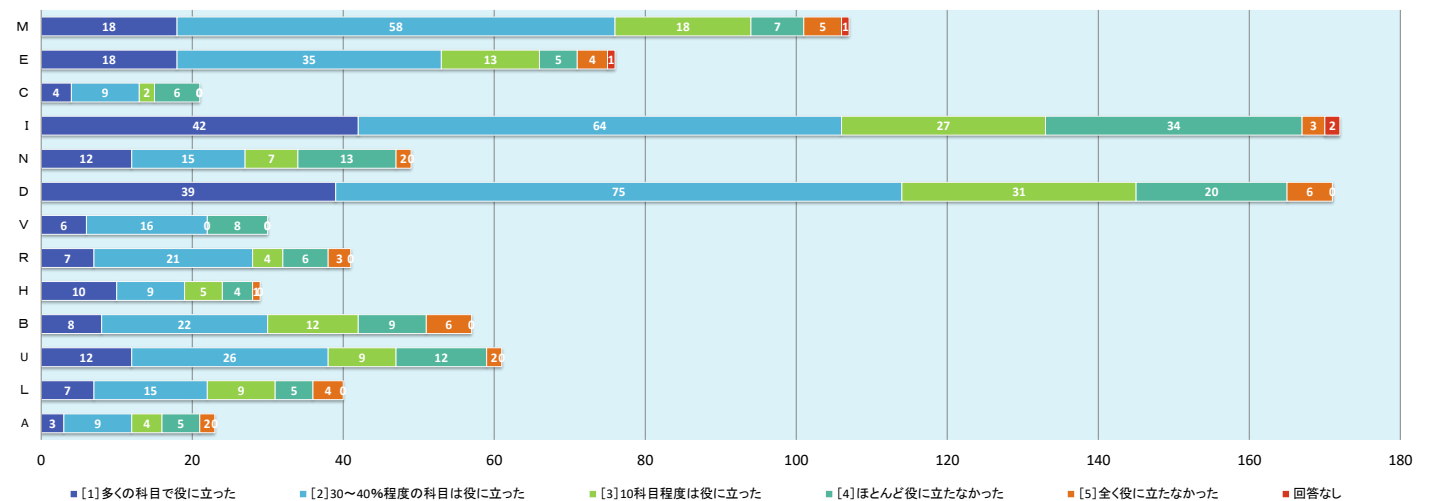


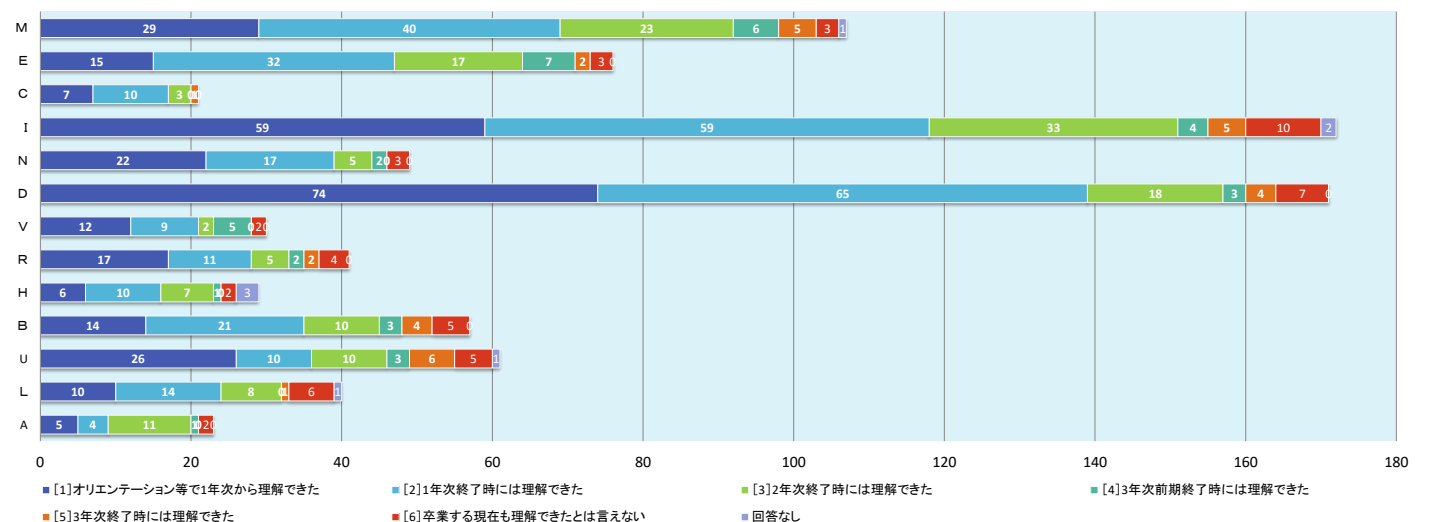
1. シラバスの活用に関してお聞きます



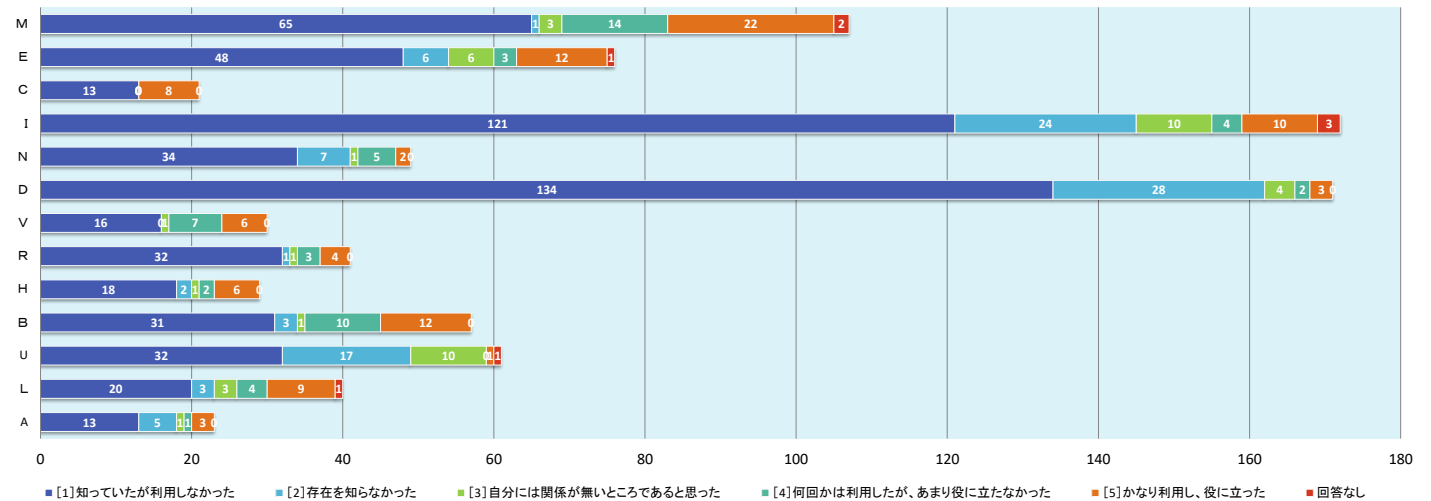
2. シラバスに記載の事前学修、事後学修についてお聞きます



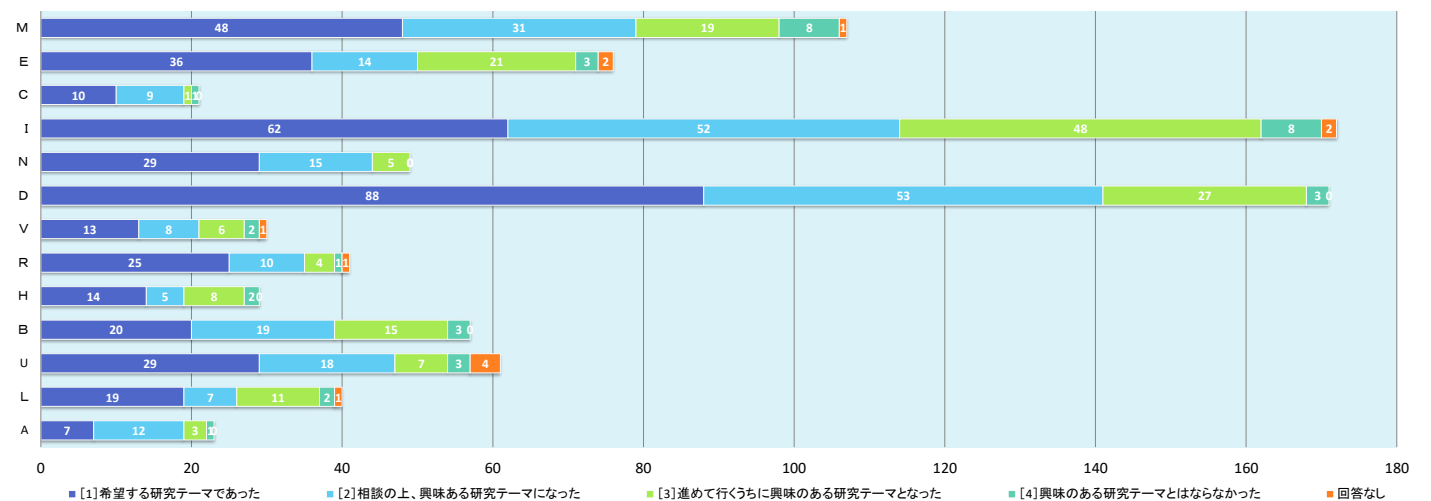
3. 大学の教育課程(カリキュラム)の理解についてお聞きます



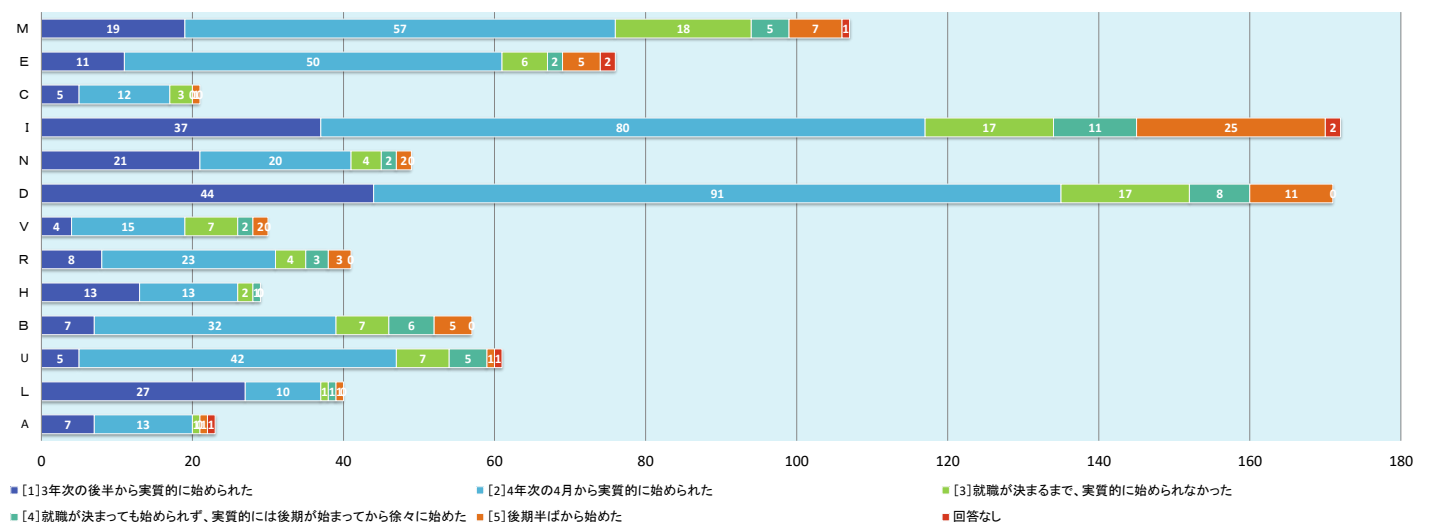
4. 基礎教育支援センターの活用についてお聞きます



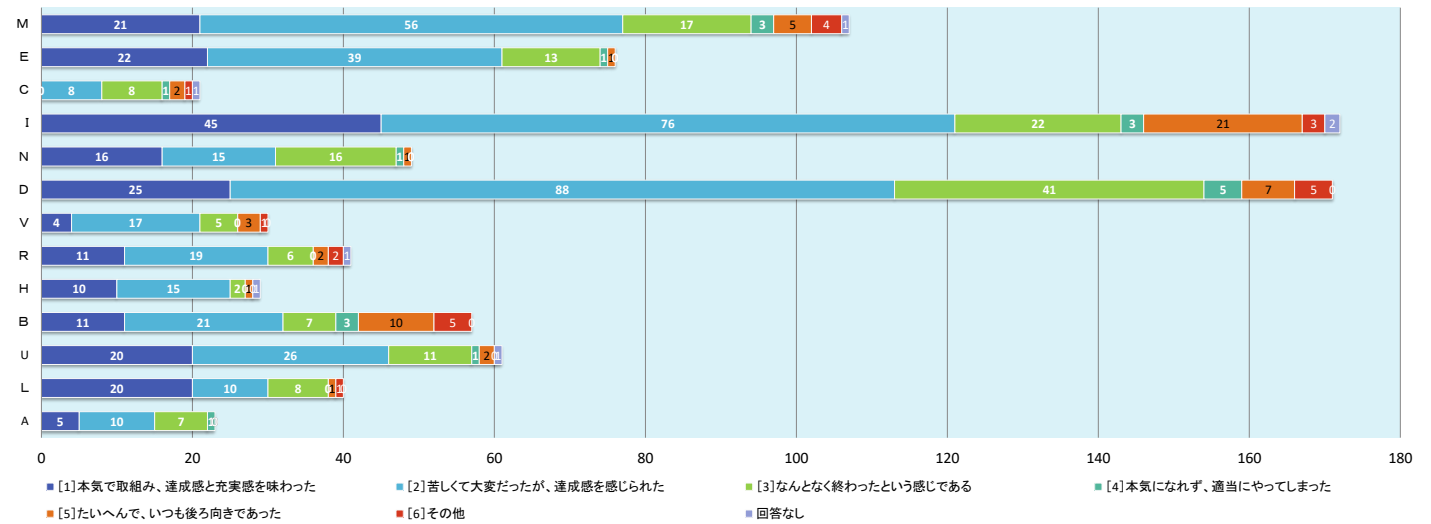
5. 卒業研究のテーマに関してお聞きます



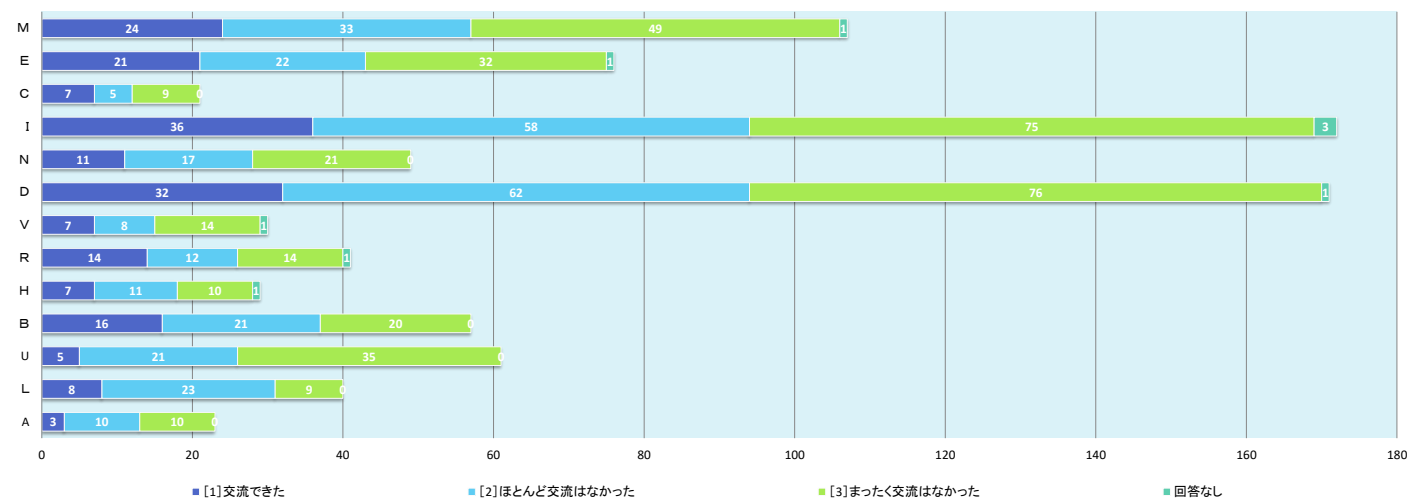
6. 卒業研究に充てた期間についてお聞きます



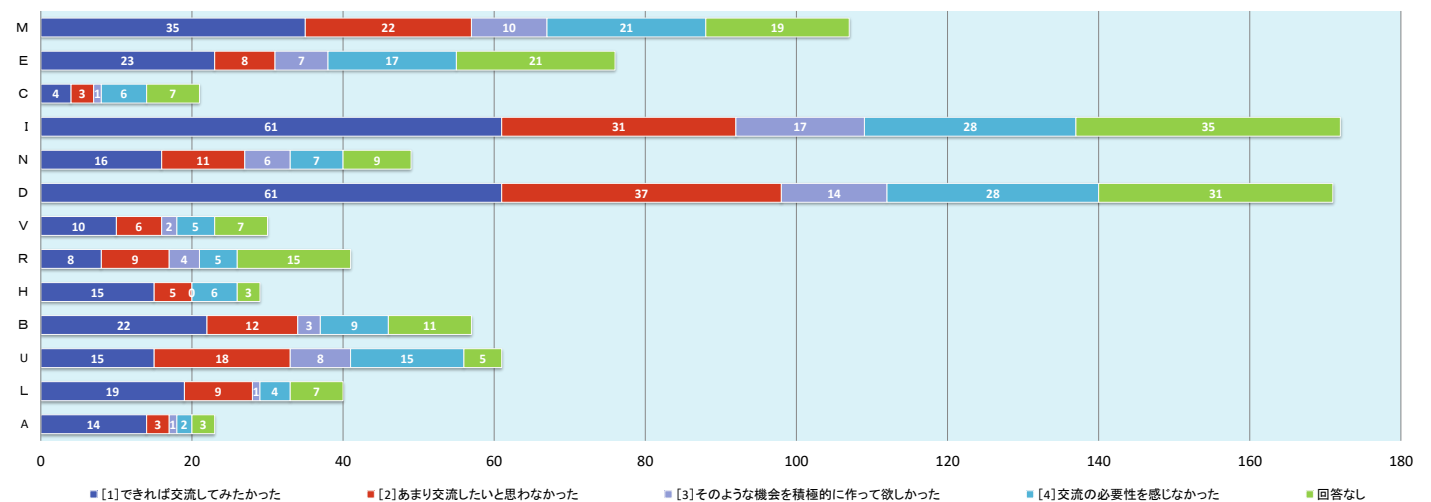
7. 卒業研究の取組みで、自分に該当すると思われるものを一つ選んでください



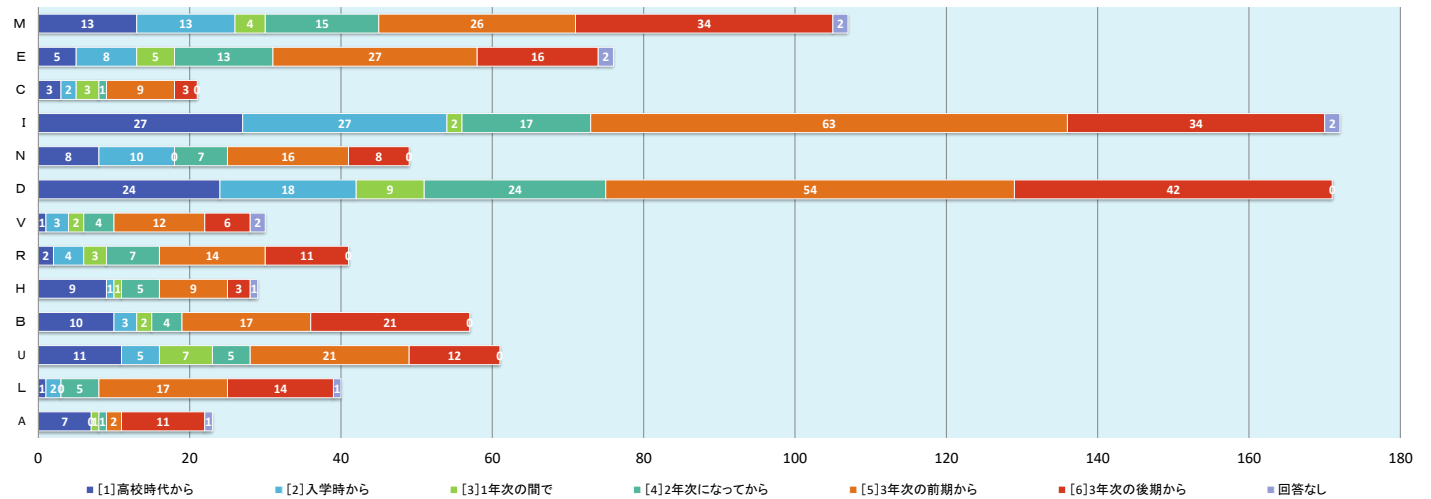
8. 部活動以外での他学科学生との交流についてお聞きます



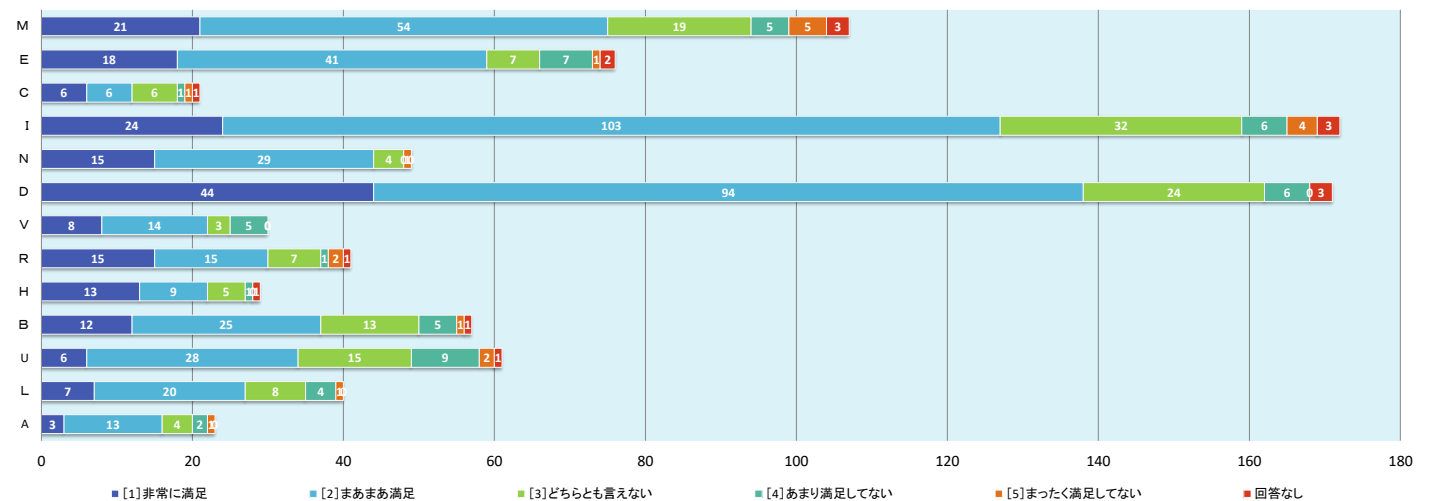
9. 8で[2]あるいは[3]と回答した方にお聞きます



10. 就職、大学院進学等の進路を意識し始めたのはいつごろからですか



11. 卒業するにあたって、総合的にみて、本学での学生生活の満足度についてお聞きます



2025年度 卒業アンケート提出率

	2024年度			2025年度		
	2025年3月 卒業者数	アンケート 提出者数	提出率	2026年3月 卒業者数	アンケート 提出者数	提出率
M	90	87	96.7%	111	107	96.4%
E	81	74	91.4%	80	76	95.0%
C	50	30	60.0%	33	21	63.6%
I	148	139	93.9%	172	172	100.0%
N	147	130	88.4%	97	49	50.5%
D	148	140	94.6%	181	171	94.5%
V	37	36	97.3%	30	30	100.0%
R	33	32	97.0%	48	41	85.4%
H	38	37	97.4%	32	29	90.6%
B	78	76	97.4%	59	57	96.6%
U	65	65	100.0%	61	61	100.0%
L	37	38	102.7%	40	40	100.0%
A	33	32	97.0%	24	23	95.8%
合計	985	916	93.0%	968	877	90.6%

2024年度卒業判定資料を使用(2025年3月11日)

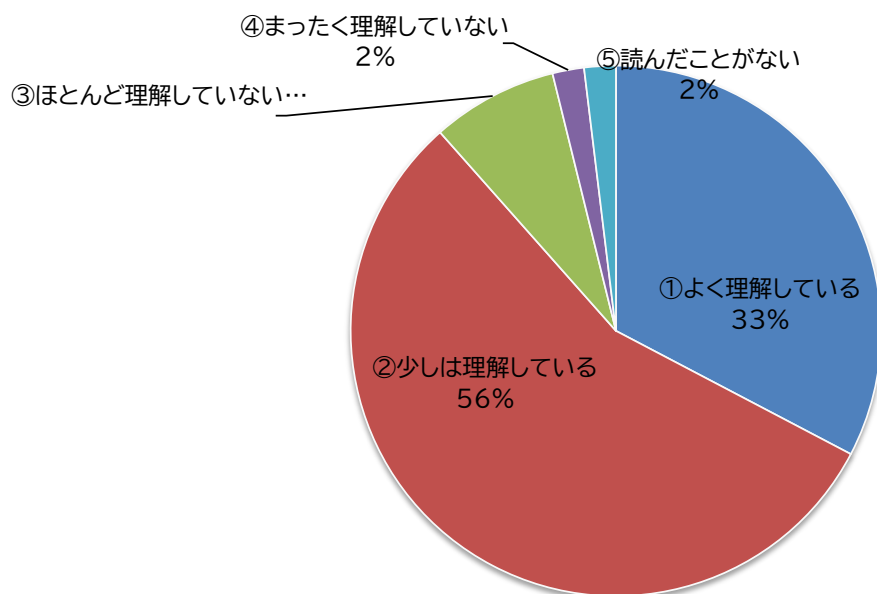
2025年度卒業判定資料を使用(2026年3月10日)

M	工学部	機械工学科
E		電気電子情報工学科
C		応用化学科
I	情報学部	情報工学科
N		情報ネットワーク・コミュニケーション学科
D		情報メディア学科
V	創造工学部	自動車システム開発工学科
R		ロボット・メカトロニクス学科
H		ホームエレクトロニクス開発学科
B	応用バイオ科学部	応用バイオ科学科
U	健康医療科学部	看護学科
L		管理栄養学科
A		臨床工学科

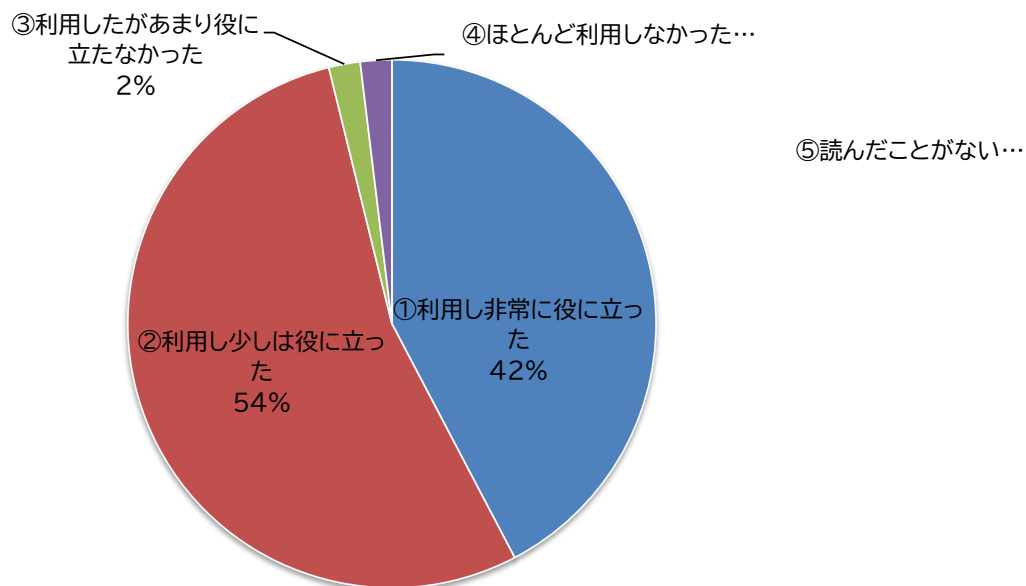
2025年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数：機械工学 8名/ 8名中、電気電子工学 9名/ 12名中、応用化学・バイオサイエンス 10名/ 10名中、
機械システム工学 9名/ 10名中、情報工学 13名/ 17名中、ロボット・メカトロニクスシステム 3名/ 3名中
計 52名/ 60名中

本学大学院またはあなたが所属する専攻の 人材養成の目的や教育方針を理解していますか	回答数 (人)	%
①よく理解している	17	33%
②少しは理解している	29	56%
③ほとんど理解していない	4	7%
④まったく理解していない	1	2%
⑤読んだことがない	1	2%



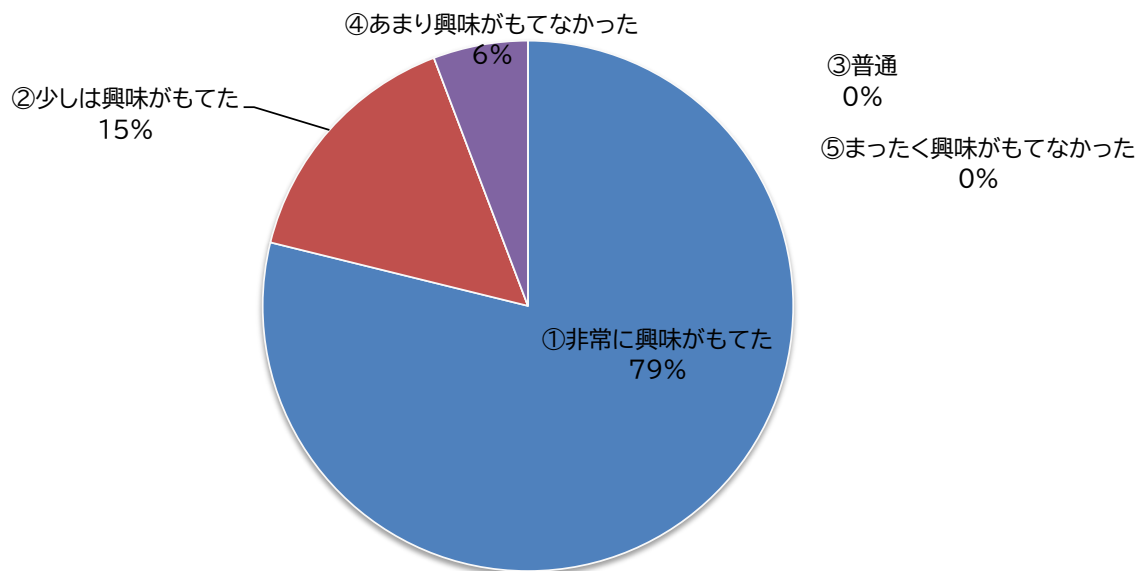
授業を受けるにあたってシラバスを利用しましたか	回答数 (人)	%
①利用し非常に役に立った	22	42%
②利用し少しは役に立った	28	54%
③利用したがあまり役に立たなかった	1	2%
④ほとんど利用しなかった	1	2%
⑤読んだことがない	0	0%



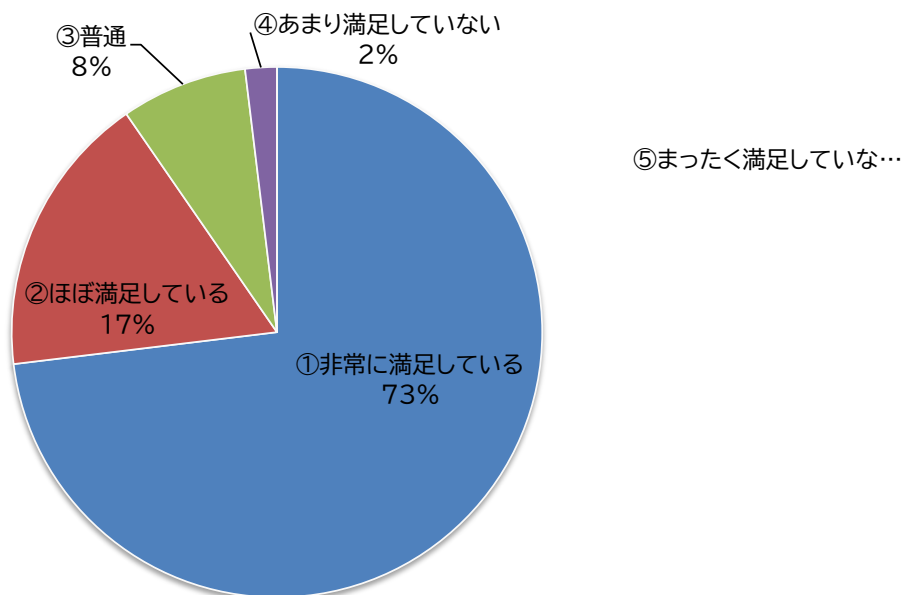
2025年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 8名/ 8名中、電気電子工学 9名/ 12名中、応用化学・バイオサイエンス 10名/ 10名中、
機械システム工学 9名/ 10名中、情報工学 13名/ 17名中、ロボット・メカトロニクスシステム 3名/ 3名中
計 52名/ 60名中

修士論文の研究内容に興味がありましたか	回答数 (人)	%
①非常に興味をもてた	41	79%
②少しは興味をもてた	8	15%
③普通	0	0%
④あまり興味をもてなかった	3	6%
⑤まったく興味をもてなかった	0	0%



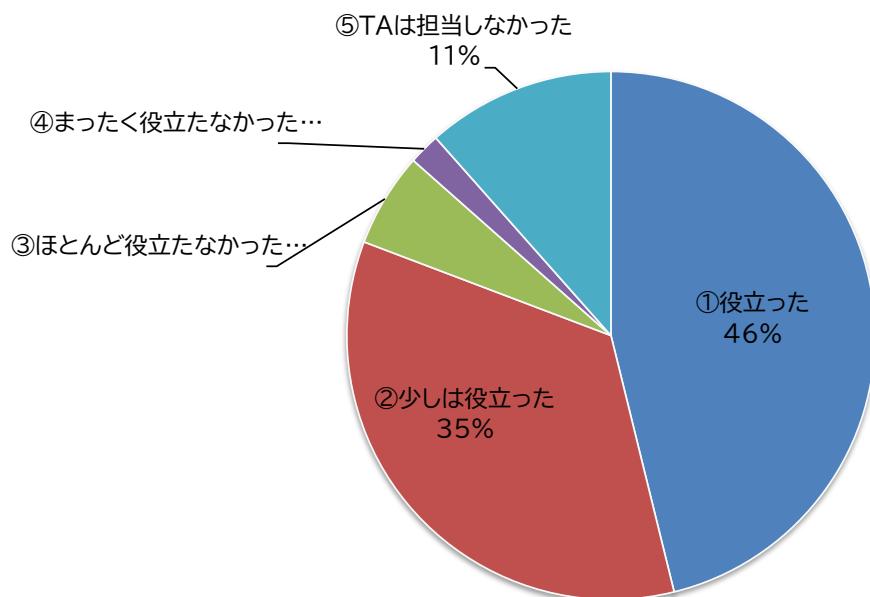
指導教員の研究指導方法について満足していますか	回答数 (人)	%
①非常に満足している	38	73%
②ほぼ満足している	9	17%
③普通	4	8%
④あまり満足していない	1	2%
⑤まったく満足していない	0	0%



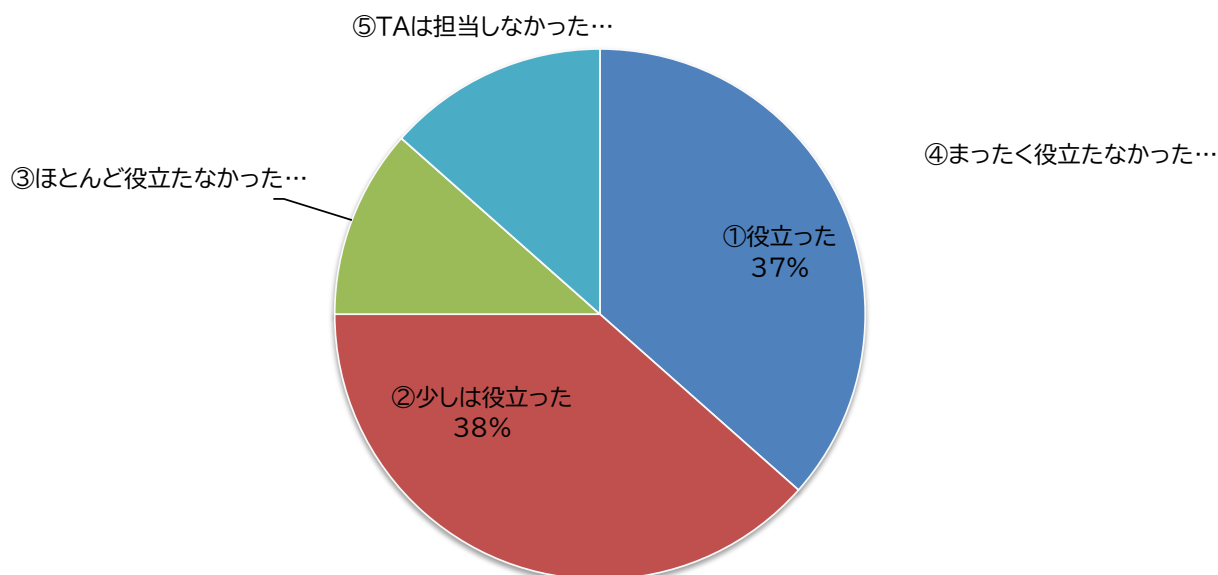
2025年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 8名/ 8名中、電気電子工学 9名/ 12名中、応用化学・バイオサイエンス 10名/ 10名中、
機械システム工学 9名/ 10名中、情報工学 13名/ 17名中、ロボット・メカトロニクスシステム 3名/ 3名中
計 52名/ 60名中

ティーチングアシスタント(TA)制度はあなたにとって教育的観点から役立ったと思いますか	回答数 (人)	%
①役立った	24	46%
②少しは役立った	18	35%
③ほとんど役立たなかった	3	6%
④まったく役立たなかった	1	2%
⑤TAは担当しなかった	6	11%



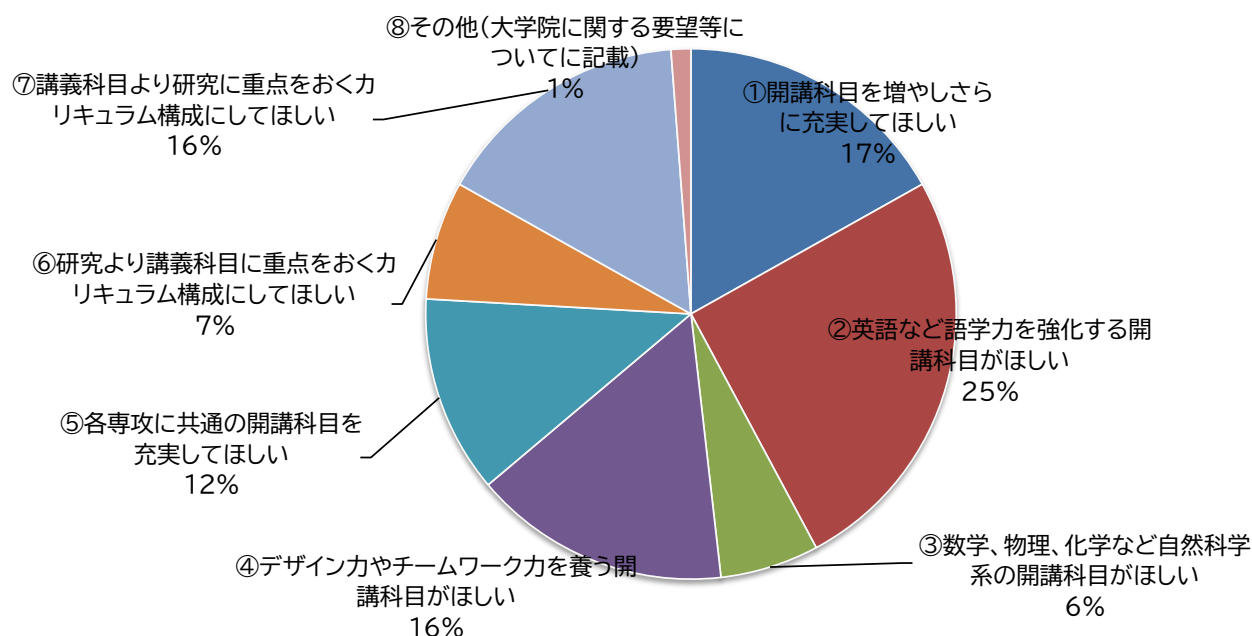
ティーチングアシスタント(TA)制度はあなたにとって経済的観点から役立ったと思いますか	回答数 (人)	%
①役立った	19	37%
②少しは役立った	20	38%
③ほとんど役立たなかった	6	12%
④まったく役立たなかった	0	0%
⑤TAは担当しなかった	7	13%



2025年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 8名/ 8名中、電気電子工学 9名/ 12名中、応用化学・バイオサイエンス 10名/ 10名中、
機械システム工学 9名/ 10名中、情報工学 13名/ 17名中、ロボット・メカトロニクスシステム 3名/ 3名中
計 52名/ 60名中

今後の大学院カリキュラム等の改善に期待するものはなんですか(複数回答可)	回答数 (人)	%
①開講科目を増やしさらに充実してほしい	14	17%
②英語など語学力を強化する開講科目がほしい	21	25%
③数学、物理、化学など自然科学系の開講科目がほしい	5	6%
④デザイン力やチームワーク力を養う開講科目がほしい	13	16%
⑤各専攻に共通の開講科目を充実してほしい	10	12%
⑥研究より講義科目に重点をおくカリキュラム構成にしてほしい	6	7%
⑦講義科目より研究に重点をおくカリキュラム構成にしてほしい	13	16%
⑧その他(大学院に関する要望等についてに記載)	1	1%



2025年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 8名/ 8名中、電気電子工学 9名/ 12名中、応用化学・バイオサイエンス 10名/ 10名中、
機械システム工学 9名/ 10名中、情報工学 13名/ 17名中、ロボット・メカトロニクスシステム 3名/ 3名中
計 52名/ 60名中

講義科目の中で、分かりやすくて印象に残っている科目を3つ以内であげてください

機械工学

サイエンスコミュニケーション	1
燃焼工学特論	2
精密加工学特論	4
熱力学特論	2
材料力学特論	2
ロボット機構学特論	2
宇宙機構造機構学特論	2
総合プロジェクト	1
流体力学特論	1
AI演習	1

電気電子工学

回路解析特論	1
電気磁気学特論	1
照明・音響工学	1
総合プロジェクト	2
計測工学特論	1
C言語による数値計算	1
電子回路特論	1
電気電子制御特論	1
家電システム工学	1

応用化学・バイオサイエンス

特別研究Ⅰ	1
特別研究Ⅱ	1
食行動科学特論	1
植物細胞工学特論	2
化学特論	2
生物化学特論	1
環境毒性学	3
食品栄養学特論	4
特許・知的財産論	1
有機化学特論	1
環境化学特論	2
高分子化学特論	1
細胞生物学特論	1
生体応答学	2

機械システム工学

創造的問題解決法特論Ⅰ	2
ヴィークルダイナミクス特論Ⅰ	4
ヴィークルダイナミクス特論Ⅱ	6
機械システム制御	1
ステアリングシステム開発特論	1

情報工学

数理科学特論	1
セキュリティ応用特論	1
人工生命創発システム特論	1
高臨場感メディア技術	1
エンタテインメント技術特論	3
インタラクションデザイン特論	2
ホームネットワーク特論	1
ソフトコンピューティング特論	1
文字認識特論	1
数値計算処理特論	1
知的生産システム工学特論	1
移動体通信特論	1
IoTシステムデザイン特論	1
AI演習	1
パターン認識・理解特論	1
流通情報システム特論	1

ロボット・メカトロニクスシステム

生体計測工学	1
認知行動科学特論	1

※教育課程表にない科目名については、集計に含めていない
機械システム工学専攻2件
情報工学専攻1件
ロボット・メカトロニクスシステム専攻2件

講義科目の中で、難しくてほとんど理解できなかった科目を3つ以内であげてください

機械工学

数理科学特論	1
特許・知的財産論	1
Technical English	1
量子コンピュータ概論	1
宇宙機構造機構学特論	1

電気電子工学

量子コンピュータ概論	1
総合プロジェクト	1
回路解析特論	1

応用化学・バイオサイエンス

総合プロジェクト	2
量子コンピュータ概論	1
数理科学特論	1
化学特論	1
反応工学特論	1
有機化学特論	1
環境毒性学	2

機械システム工学

ステアリングシステム開発特論	2
シミュレーション技法	1
流体システム工学特論	1

情報工学

Web行動解析特論	1
化学特論	1
AI演習	1
数理科学特論	1
量子コンピュータ概論	1

ロボット・メカトロニクスシステム

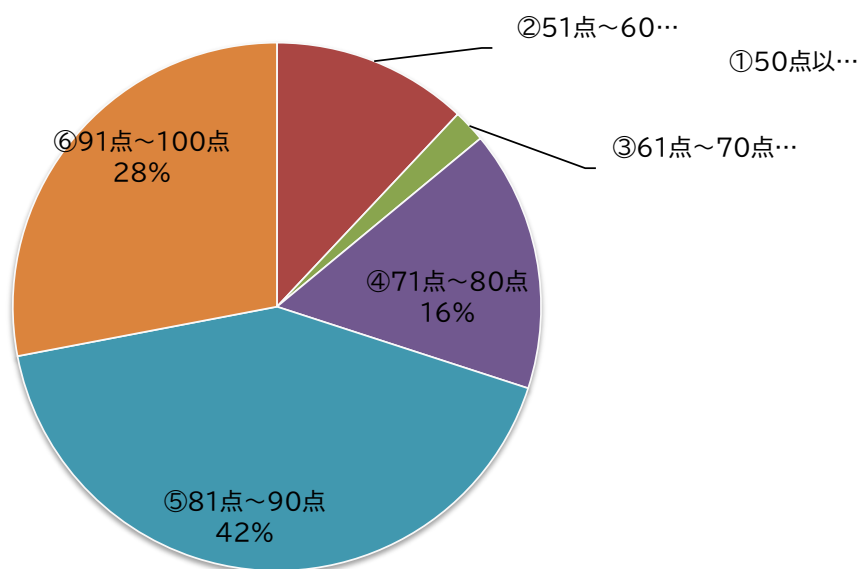
量子コンピュータ概論	1
------------	---

※教育課程表にない科目名については、集計に含めていない
情報工学専攻1件

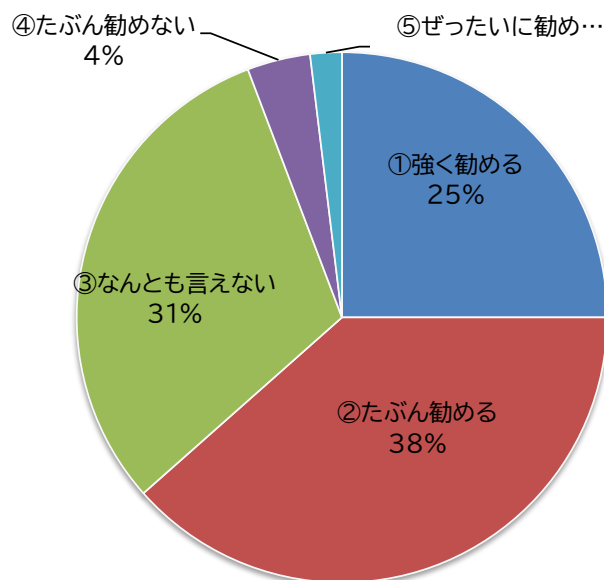
2025年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 8名/ 8名中、電気電子工学 9名/ 12名中、応用化学・バイオサイエンス 10名/ 10名中、
機械システム工学 9名/ 10名中、情報工学 13名/ 17名中、ロボット・メカトロニクスシステム 3名/ 3名中
計 52名/ 60名中

総合的に見て、大学院に在学した満足度(100点満点)はどのくらいですか	回答数 (人)	%
①50点以下	0	0%
②51点～60点	6	12%
③61点～70点	1	2%
④71点～80点	8	16%
⑤81点～90点	21	42%
⑥91点～100点	14	28%



大学院進学を後輩へ勧めますか	回答数 (人)	%
①強く勧める	13	25%
②たぶん勧める	20	38%
③なんとも言えない	16	31%
④たぶん勧めない	2	4%
⑤ぜったいに勧めない	1	2%



2025年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 8名/ 8名中、電気電子工学 9名/ 12名中、応用化学・バイオサイエンス 10名/ 10名中、
機械システム工学 9名/ 10名中、情報工学 13名/ 17名中、ロボット・メカトロニクスシステム 3名/ 3名中
計 52名/ 60名中

大学院進学を後輩へ勧める理由

(MM)

- 基本的には勧めるが、本人次第で変わる。人によって向き不向きがあり、本人が悩む場合には勧めるが、全員が大学院で研究するだけの能力があるわけではないから。
- 難しいから。
- 大変なことも多いから。
- 後輩のやりたいことが大学院で実現できるのであれば勧める。
- 大学院に進むよりも人によっては就職した方が良いかもしれない。8割はすすめないが2割くらい熱意のある人がいればという感じである
- より専門的な学問を学べるため。

(ME)

- 進学に満足はしているがそれなりにしんどいこともあった。進学するにしても、学費が高くなった今、一部の力や特色のある研究室以外で工科大の大学院を選ぶメリットはあまりないかもしれないから。
- 「三更灯火五更鶏、正に男児の読書する時」という言葉があるように、努力を重ねて学び続けることは、将来を切り拓く大きな力になると信じています。世界が発展していくためには、工学の力、そして科学の力が必要です。社会を支えるのは、まさに技術と知識の積み重ねだと思います。「立身は立学をもって先となし、立学は読書をもって本となす」とあるように、人として成長するためにはまず学ぶことが大切であり、その基盤は読書と継続的な勉学にあります。もし心の中に「さらに学び続けたい」という思いがあるのなら、どうか迷わず挑戦してほしいと思います。そして、今後さらに多くの学生が安心して研究に専念できるよう、博士課程における奨学金制度のさらなる充実や、授業料減免制度の拡充についてご検討いただけましたら幸いです。
- 私は、院生の役割として、自身の研究への理解だけでなく、後輩の研究にも理解を深める必要があると考えます。院生として他者の研究の理解がより深まれば、自身の研究にも役に立てられます。
- より自身の研究分野に関する知識を深めることができるから。
- 研究室の学習環境がとても良く、先生や先輩・同級生から多くのサポートや助言をいただきました。そのおかげで、安心して研究に取り組むことができ、大きく成長できたと感じています。

(MC)

- 教授がかかりきりで見てくれる先生と、授業などに追われあまり見れない先生もいるため。
- 研究の一貫性。
- L科に院進学希望者があまりいないため。
- 大学院で学んだ分野外に就活する際、苦労するから。
- 職業によるから。
- 目的や理由を持っていくのであれば良い。研究が失敗しても何回もトライする志が重要。
- 学部生時代の何倍も学んで成長することができたのかなと感じますが、そのぶん何百倍もしんどかったです。根気がないと続かないと思います。

(MS)

- 自分自身の成長のためとても有効な手段だと考えるため。
- 学部では学びきれなかった内容について深く学ぶことが出来るため。
- 自分の成長につながるから。
- 経済的な部分と自分へのメリットを見極めるのが進学前だと難しいため。
- 自分を大きく成長させることができます。
- より専門性を高められるから。

(MI)

- やりたい事がある場合は進学した方が良い。
- やりたいことがあるなら進学をしても良いと思います。
- 研究発表の機会が増えるため、経験になる。
- 専門的な内容を学べるが、学費の負担面で安易に進学を勧められない。
- 自分はもともと大学の講義を受けることが好きで、研究も楽しいと思えたので続けられたが、多くの学生はラクに単位を取る講義を受けて就職のために大学に来ているから、授業や研究を純粋に楽しめる人には勧めたいが、そうでないなら就職したほうが楽しいと思う。
- 学部の研究を深めるためには最適だと思う。ただ研究室を変えての進学はあまりお勧めできない。
- 経済・時間的なコストを含めて、自ら考えるべき。
- 1年では研究時間が足りないため。
- 自身の専門性を高めつつ、説明能力を高めることが出来るため。
- 技術的な事をより深く学ぶため。
- 自由に研究に取り組むことができるため。

(MR)

- 就活で有利になる。
- 研究を通して色々な経験が得られる。
- 研究方法を学ぶことが出来る。

2025年度 大学院修了時アンケートまとめ

回答人数: 機械工学 8名/ 8名中、電気電子工学 9名/ 12名中、応用化学・バイオサイエンス 10名/ 10名中、
機械システム工学 9名/ 10名中、情報工学 13名/ 17名中、ロボット・メカトロニクスシステム 3名/ 3名中
計 52名/ 60名中

大学院に関する要望等について、自由に記入してください

(MM)

- 夜間実験ができるようにしてほしい。

(ME)

- 学費を60万円に戻そう。せめて学部入学前年度の大学の総合案内パンフレットにそう書いてあって、それを見て入学した代の学生たちが進学にするまでは60万で貰ってほしい。60万なら進学しても良かったという同期は実際にいた。大学として厳しいのはわかるが、学部の入試受験料下げたり女子枠作ったり受験科目数減らしたり、カイトタウンとかカイト広場作っても大学院生の研究や学生生活が良くなるわけでは全くない。その上学費上げるならもっと大学院生への手当てや研究費、設備を整えてほしい。学費の上げ幅に対して以前と何も変わらない(学生目線では)というこの現状はただただ不満。推薦入試の基準の緩和とかもあったけど結果的に他専攻は分からないが大学院生は増えてない。工科大はなんか根本的なところがずれてるような気がします。個人的には工科大に来て良かったと思ってるけど、結構迷走してる部分も多いかなって感じます。
- 母校が今後も弦歌やむことなく、優れた人材を数多く輩出し、桃李満門となりますことを心よりお祈り申し上げます。また、教育・研究のさらなる充実を通して、大学の評価や偏差値が一層向上し、より多くの受験生から選ばれる、名実ともに評価の高い大学へと発展されることを期待しております。
- 大学院へ進学する学生数が少なくなっていると感じます。TA業務の割り当てにおいても、これまでより多くの科目を担当する必要がある本業である研究活動に支障が出るおそれがあります。単に、TA担当授業を減らすなどは先生方の負担増につながり現実的ではありません。学生数を増やすためには院生の魅力を伝える必要があります。魅力についても就活での優位性の説明や研究に興味を持ってもらう施策などさまざまあると思います。学生数の増加は大学存続のためにも重要な事案だと考えます。今後、大学院が増え、活気ある研究活動が行われることを期待します。

(MC)

- 総合プロジェクトを別のものにして欲しい。例えば教授からわたされた論文を読み発表するとか。
- NMRありがとうございました。
- もっと実験の予算を増やしてほしい。

(MS)

回答なし

(MI)

- 授業の開講が奇数年・偶数年にわかれていないほうが、授業を取りやすいと思いました。
できればM2の後期に授業はないと良いです。
- 休日に大学に入る際、学生証をタッチすると自動ドアが開けられるシステムがあるが、学部生は登録されているのに院生は登録されていない。院生の学生証でも開けられるようにしてほしい。(K1号館)
他学科向けの集中講義などを案内してほしい。(D科のメディア実践講座のような)
TAの上限を上げてほしい。100分授業になったことで1コマ分減ってしまったため。できれば給料も上がると嬉しい。
TAがなくなる長期休暇にアルバイト募集があると助かる。
学内で困っていることに対して、研究を通して解決していくような仕組みがあったら面白いと思います。
学食や図書館など協力できたら嬉しい。KAITWalkerのUIが使いづらい。Moodleも。
- 講義とグループ発表を強制しない内容にしてほしい。

(MR)

回答なし